

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	東京家政大学短期大学部
設置者名	学校法人 渡辺学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部等名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
		全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
保育科	夜・通信	0	0	7	7	7	
栄養科	夜・通信			8	8	7	
(備考)							

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/image/2020_jitsumu_tandai.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京家政大学短期大学部
設置者名	学校法人 渡辺学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/assets/2020_yakuin.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤(理事長)	株式会社 役員 公益社団 役員 株式会社 顧問	令和 2年6月5日 ～ 令和 5年6月4日	ガバナンス総括、 経営刷新
非常勤(理事)	私立大学 非常勤職員	平成 2年6月5日 ～ 令和 5年6月4日	外部評価、 多様な意見表明
非常勤(理事)	私立女子短大 非常勤講師	平成 2年6月5日 ～ 令和 5年6月4日	外部評価、 多様な意見表明
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京家政大学短期大学部
設置者名	学校法人 渡辺学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各学部学科の授業科目について、授業名、担当教員名、講義目的、各回の授業内容、成績評価方法・基準、準備学習等についての具体的な指示、教科書・参考文献、履修条件等に加えて、学位授与の方針と整合した具体的な到達目標、適切な授業外学修、客観的な成績評価基準などを、学生等に対して明確に示すための資料として、年間の授業計画書(シラバス)の作成要領を配付し、シラバスを作成している。授業計画書(シラバス)は、当該年度当初に公表している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>各学部学科の授業科目のシラバスの公表方法は、WEBシラバスよりカテゴリ検索することにより公表している。</p> <p>https://tk-ptl.tokyo-kasei.ac.jp/campusweb/slbskgr.do?clearAccessData=true&contenam=slbskgr&kjnmnNo=3</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各学部学科は、各学生の学修成果に基づき、学生にあらかじめ示した客観的な成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。各授業の学習意欲、学修成果の把握のための、試験やレポート、卒業論文などの適切な成績評価の方法等については、授業担当者がWEBシラバス上に明記している。成績評価の方法・基準は、HPで公表している。</p> <p>https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/assets/seiseki2020.pdf</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各学部学科は、成績評価において、GPAを客観的な指標として設定し、GPAの算定方法を、公表している。GPAによる成績分布状況の情報は、各学部学科に提供され、学生の成績の相対的位置を把握することができる。これに基づき、GPAにおける成績指導等を実施している。</p>	

GPA (Grade Point Average) について

GPA は、履修登録した科目の成績評価にグレードポイントをつけて、1 単位あたりの成績の平均値を算出したものである。グレードポイントは成績評価に基づき下表の通りとする。

成績評価	秀	優	良	可	不可
グレードポイント	4	3	2	1	0

GPA は次の計算式により算出される。

$(\text{秀の修得単位数} \times 4) + (\text{優の修得単位数} \times 3) + (\text{良の修得単位数} \times 2) + (\text{可の修得単位数} \times 1) + (\text{不可の単位数} \times 0)$

履修登録科目の単位数合計

- * GPA は「年間 GPA」(年度ごとの GPA) と「通算 GPA」(入学以後の累積 GPA) の 2 つに分けられる。
- * GPA は小数点第 3 位を四捨五入する。
- * 成績評価が“合格”、“認定”の科目の単位は GPA 算出の対象外とする。
- * 成績評価が“不可”の科目を次年度以降に再履修し単位を修得した場合、当該科目の“不可”の単位は GPA 算出の対象外とする。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.tokyo-kasei.ac.jp/digitalbook/R02binran/itabashiD1/HTML5/pc.html#/page/58>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

各学部学科は、学位授与の方針を定め、修得すべき学修成果を「知識・理解」「汎用的技能」「態度・志向性」「総合的な学習経験と創造的思考力」に分けて明示し、公表している。学位授与の方針、学修成果に係る評価基準により認定された学生の修得単位数等を踏まえ、学則に明記された卒業要件に基づき、卒業の認定を実施している。

ディプロマポリシー

校祖渡邊辰五郎は、女性が経済的に自立することに加え、自らの意志と判断でよりよい社会の形成に貢献できることを目指す「自主自律」を建学の精神として本学の礎となる和洋裁縫伝習所を設立した。そして、第二次大戦後、東京家政大学の設立に尽力した初期の学長である青木誠四郎は、これからの社会において自主的・自律的に生活していくためには、「愛情・勤勉・聡明」をもたなければならないと生活信条を掲げ、その著『若い女性(ひと)』のなかで「愛情・勤勉・聡明」について次のように述べている。

「愛情」とは「他人の立場に立ってその人の幸福のためにどうしなければならないかを考え、それを包んで他に対すること」である。

「勤勉」とは「他のために自分のために働くこと」である。

「聡明」とは「よく考えられた生活」を創り、営むことである。

こうした歴史を踏まえ、本学では、「自主自律」の生き方ができることを教育目的とし、この教育目的の実現を目指し「愛情・勤勉・聡明」にもとづいた生活を創り、営むことができることを教育目標と定めている。そして、この教育目標の具体的な像として、以下に掲げた資質能力を総合的に身につけた学生に対して学位を授与するものとする。

【知識・技能】

社会において、「よく考えられた生活」を自主的・自律的に創り、営むのに必要となる幅広い教養とそれに支えられた自ら学ぶ力を有している。(聡明)

自らの専門領域の知識・技能と研究方法を身につけ、社会においてそれを実践的に生かすことができる。(聡明)

【思考力・判断力・表現力】

他者および自己への愛情をもって、他者の意見や価値観に耳を傾けつつ、自らの考えを再構築する思考力・判断力・表現力を有している。(愛情・勤勉・聡明)

【主体性・多様性・協同性】

他者の幸福と自己の幸福を重ね合わせ、それを踏まえて他者や自己に接することができる。(愛情)

勤勉に「よく考えられた生活」を自主的・自律的に創り、営んでいくことができる。(勤勉・聡明)

社会のさまざまな課題に向き合い、すべての人が「よく考えられた生活」を自主的・自律的に創り、営むことができるよりよい社会を協同的に形成することができる。

(愛情・勤勉・聡明)

卒業の認定に関する
方針の公表方法

https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/diploma_policy/index.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	東京家政大学短期大学部
設置者名	学校法人 渡辺学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/R01_taishaku.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/R01_shuushi.pdf
財産目録	https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/R01_mokuroku.pdf
事業報告書	https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/R01_jigyou.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/R01_kansa.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/self_check/index.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保育科
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/junior_college/message.html)
(概要) 短期大学部は、女子に対し、家政学に関する実践的専門的な学術技芸を教授し、その応用能力を高め、職業能力を啓培するとともに、人格の完成に努め、真に平和を愛し、民主的文化国家及び社会の形成者を育成することを目的とする。 ・保育科は、子どもの保育について基礎から専門までを理論的に学ぶことにより、子どもの豊かな人格を形成できる学生を育てることを目的とする。実践的な技能と多様な保育技術を身につけ、幼稚園教諭や保育士などの保育者として、社会に貢献できる人材を育成することを、人材養成・教育研究上の目的としている。
卒業の認定に関する方針 (ディプロマポリシー) (公表方法： https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/diploma_policy/index.html)
(概要) 各科共通 学位授与の方針を定め、修得すべき学修成果を「知識・理解」「汎用的技能」「態度・志向性」「総合的な学習経験と創造的思考力」に分けて明示し、公表している。学位授与の方針、学修成果に係る評価基準により認定された学生の修得単位数等を踏まえ、学則に明記された卒業要件に基づき、卒業の認定を実施している。 各科のディプロマポリシーは、HPで公開している。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラムポリシー) (公表方法： https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/curriculum_policy/index.html)
(概要) 各科共通 教育目標である「愛情・勤勉・聡明」にもとづいた生活を創り、営むことができることを目指して、幅広い教養と自ら学ぶ力を育む「共通科目」、各科の専門領域の知識・技能と研究方法を学修するために実践的な科目を効果的に配置しつつ系統的に構成した「専門教育科目」、また資格取得に関する「資格関係科目」を設置し、2年間にわたる学修全体に効果的に寄与する教育課程を編成している。 各科のカリキュラムポリシーは、HPで公開している。
入学者の受入れに関する方針 (アドミッションポリシー) (公表方法： https://www.tokyo-kasei.ac.jp/admission/admission_policy/index.html)
(概要) 各科共通 本学の建学の精神と生活信条に基づき、入学者を本学が積極的に受け入れるため、次のような人を求める。 1. 建学の精神である自主自律を目指す女性 ・専門的な知識・技術・技芸を身につけ、社会に貢献し活躍することを志す女性

<ul style="list-style-type: none"> ・広い教養と健全な常識を有し、自主的自律的な人生を望む女性 ・現代の諸課題に対し女性としての感性と知性を発揮し、将来希望の持てる世の中に していくことを目指そうとする女性 <p>2. 生活信条としての「愛情・勤勉・聡明」を大切にする女性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己のみならず他者への愛情も持ち、それに報いるための勤勉さと、妥当で正当な 判断の出来る聡明さを身につけようと志す女性 ・自己の幸福と周囲の人達の幸福を重ね合わせることで出来る女性 ・グローバルスタンダードとしての生活技術の豊かさを収めながら、心の大切さを 忘れない女性 <p>各科のアドミッションポリシーは、HPで公開している。</p>
--

学部等名 栄養科
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/junior_college/message.html)
(概要) 短期大学部は、女子に対し、家政学に関する実践的専門的な学術技芸を教授し、その応用 能力を高め、職業能力を啓培するとともに、人格の完成に努め、真に平和を愛し、民主的 文化国家及び社会の形成者を育成することを目的とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・栄養科は、社会生活と健康、人体の構造と機能、食品と衛生、臨床栄養、栄養と健康、 栄養の指導及び給食の運営の分野で知識、技能を教授し、また教職に関する科目を加え、 栄養士資格及び教員免許を取得し、多様化する現代の食環境で適切な指導ができる「食 と健康」のスペシャリストを育成することを、人材養成・教育研究上の目的としている。
卒業の認定に関する方針 (ディプロマポリシー) (公表方法： https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/diploma_policy/index.html)
(概要) 各科共通
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラムポリシー) (公表方法： https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/curriculum_policy/index.html)
(概要) 各科共通
入学者の受入れに関する方針 (アドミッションポリシー) (公表方法： https://www.tokyo-kasei.ac.jp/admission/admission_policy/index.html)
(概要) 各科共通

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： https://www.tokyo-kasei.ac.jp/digitalbook/R02binran/itabashiD1/HTML5/pc.html#page/6

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	0人	—					0人
保育科	—	4人	7人	0人	0人	0人	11人
栄養科	—	5人	5人	1人	0人	0人	11人
b.教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
5人		89人					94人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： 各教員の学位 / 東京家政大学研究者情報データベース https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/assets/gyoseki_soshiki_gakui.pdf https://tk-kenkyugyoseki.tokyo-kasei.ac.jp/tkuhp/KgApp					
c.FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保育科	120人	90人	75.0%	240人	181人	88.3%	0人	0人
栄養科	80人	78人	97.5%	160人	160人	100.0%	0人	0人
合計	200人	168人	84.0%	400人	341人	85.3%	0人	0人
(備考)								

b.卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保育科	120人 (100%)	11人 (10.3%)	92人 (86.0%)	4人 (3.7%)
栄養科	73人 (100%)	14人 (16.1%)	64人 (73.6%)	9人 (10.3%)
合計	193人 (100%)	25人 (12.9%)	156人 (80.4%)	13人 (6.7%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>各科の授業科目について、授業名、担当教員名、講義目的、各回の授業内容、成績評価方法・基準、準備学習等についての具体的な指示、教科書・参考文献、履修条件等に加えて、学位授与の方針と整合した具体的な到達目標、適切な授業外学修、客観的な成績評価基準などを、学生等に対して明確に示すための資料として、年間の授業計画書（シラバス）の作成要領を配付し、シラバスを作成している。授業計画書（シラバス）は、当該年度当初に公表している。各科の授業科目のシラバスは、WEB シラバスよりカテゴリ検索することにより公表している。</p> <p>https://tk-ptl.tokyo-kasei.ac.jp/campusweb/slbsskgr.do?clearAccessData=true&contenam=slbsskgr&kjnmnNo=3</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)			
<p>各科は、各学生の学修成果に基づき、学生にあらかじめ示した客観的な成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。各授業の学習意欲、学修成果の把握のための、試験やレポート、卒業論文などの適切な成績評価の方法等については、授業担当者が WEB シラバス上に明記している。成績評価の方法・基準は、大学 HP で公表している。</p>			
学部等名	卒業に必要な単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
保育科	62 単位	有・無	単位
栄養科	62 単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）	公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：</p> <p>交通アクセス・各校舎配置図 https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/access/index.html</p> <p>板橋キャンパス紹介 https://www.tokyo-kasei.ac.jp/campus_support/cumpus_guide/itabashi.html</p> <p>狭山キャンパス紹介 https://www.tokyo-kasei.ac.jp/campus_support/cumpus_guide/sayama.html</p> <p>教育研究等環境の整備に関する方針</p> <p>https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/policy/research_env_policy.html</p>
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部等名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
保育科	700,000 円	240,000 円	350,000 円	
栄養科	700,000 円	240,000 円	365,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>修学支援 https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/academic_support/about_support.html</p> <p>履修などの指導・支援</p> <p>入学後には Web 履修登録の方法、ポータル（学生生活を送るうえで必要な情報を Web 上で提供する窓口システム）の利用方法についてガイダンスを行っている。学科・科ごとにフレッシュマンセミナーを実施し、所属の教員より免許・資格の取得方法、履修方法などの指導を行っている。</p> <p>また、随時、在学生からの履修上の相談や免許・資格取得の相談に応じており、卒業学年生に対しては各種免許・資格の一括申請説明会を開催し、各種免許・資格取得を支援している。履修登録期間中は、担当部署窓口、履修登録相談コーナー（履修サポートデスク）などで、円滑に履修登録ができるよう支援している。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>進路選択に関する支援 https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/assets/shusyokushien.pdf</p> <p>建学の精神である女性の「自主自律」を体現できる卒業生を輩出するために、次の方針の下に組織的なキャリア支援を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生のキャリア形成に資するために、正課の教育課程と正課外の支援を有機的に構成した機会やプログラムを提供する。 ・学生自らが自身の進路を自己決定できるよう、学生からの相談に応じる。 ・学生が的確な判断や決定ができるよう、情報の収集と提供に努める。 ・学生の就職活動を支援するために、卒業生の就職先を始めとして、企業・施設などとのネットワークの強化を図る。 ・個々の学生の主体的な活動（行動）を促進するために、教職員が連携・協働を図る。
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>心身の健康にかかる支援</p> <p>https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/academic_support/about_support.html</p> <p>板橋キャンパスの保健センターには、心身の健康や学生生活を支援する保健室と学生相談室があり、狭山キャンパスには、保健室・学生相談室がある。保健室には、病気や怪我などに的確な応急処置ができるよう看護師が常駐している。学生相談室では、学生生活上の悩みや不安についての解決の糸口を学生自身が見つけられるよう、カウンセラーが常駐して、学生や保護者からの相談に対応している。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：https://www.tokyo-kasei.ac.jp/research/index.html</p>
